

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月08日

計画の名称	羽曳野市流域関連公共下水道事業計画（その2）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	羽曳野市											
計画の目標	公共下水道汚水整備を行うことにより、衛生的で快適な生活環境の改善を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,390	A	2,390	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	羽曳野市の下水道処理人口普及率を、81%（H26）から85%（H31）に向上させる。			
	下水道処理人口普及率（%）	81%	83%	85%
	下水道処理区域（人） / 行政人口（人）（平成25年度末行政人口 115,578人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	羽曳野市	直接	-	管渠(汚水)	新設	今池処理区他汚水管渠	汚水管 200 L=12.2km	羽曳野市						2,390	-	-
											小計						2,390		
											合計						2,390		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
下水道部（下水道建設課、下水道総務課）にて実施 パブリックコメントを実施	令和3年2月
	公表の方法
	羽曳野市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画的な汚水整備事業により下水道整備区域を拡大し、下水道処理人口普及率の目標を達成するとともに、衛生的で快適な生活環境の改善が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
次期計画においても「羽曳野市流域関連公共下水道事業計画（その2）」に基づき、「羽曳野市流域関連公共下水道事業計画（その3）」を策定し、下水道整備区域内人口の増加に取り組み、衛生的で快適な生活環境の改善に取り組んでいく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率（％）	
	最終目標値	85%
	最終実績値	85%
		積極的な地元の協力により、事業効果の高い路線について、事業を進めることができたため、目標値を上回る整備となった。